

## ◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ **梅毒**の報告が2例(20歳代男性, 70歳代男性)あり, 本年の累積報告数は56例となりました。2例ともに感染地域は国内, 感染経路は性的接触です。本年は既に昨年の年間報告数51例を超えており, 全国でも年々報告数が増加しています。重症化及び感染拡大を防ぐためには, 早期発見, 早期治療が非常に重要です。

京都市では, 平日昼間, 土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています。詳細については, 下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

梅毒の感染経路や治療, 予防等に関しては, 下記ホームページを御覧ください。

○厚生労働省「梅毒に関するQ&A」

[http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html)

- ・ **インフルエンザ**は, 例年おおむね12月頃から流行が始まります。現状では京都市で流行の兆しは見られませんが, 全国的には例年より早い患者報告数の増加が見られる地域があり, 学級閉鎖の報告もあります。インフルエンザの予防策としては手洗い, うがいなどの一般的な衛生行動が重要です。また, ワクチン接種も予防効果があり, 10月中旬以降から接種が始まります。接種回数は13歳未満は2回, 13歳以上は特に医師の判断がない場合は1回となります。任意接種のため, 費用は自己負担となります。接種の詳細はかかりつけの医療機関でご相談ください。

京都市では, インフルエンザや手洗いの方法のリーフレットを発行しています。リーフレットについては下記ホームページを御覧ください。

○「手洗いの方法」リーフレットは, 「こどもに多い感染症について」のページ内にリンクがあります(衛生環境研究所)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000197526.html>

○こどもの感染症リーフレット「インフルエンザ」(衛生環境研究所)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/influenza.pdf>

## ◆ 今週のトピックス: <感染性胃腸炎>

京都市における感染性胃腸炎の定点当たり報告数は5.30(228例)となり, 3週連続で増加しています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 五類:梅毒 2例【1月以降の累積報告数 56例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.12	8
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.30	228
	② RSウイルス感染症	1.77	76
	③ ヘルパンギーナ	0.88	38
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.86	37
	⑤ 手足口病	0.86	37
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <感染性胃腸炎>

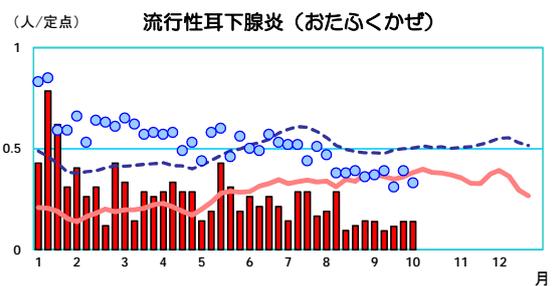
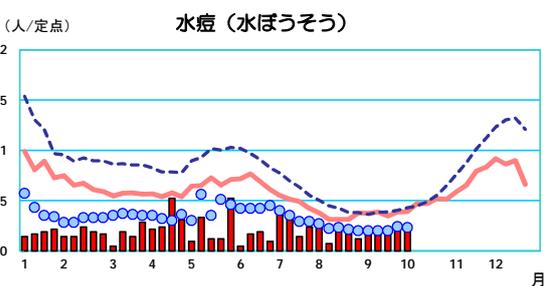
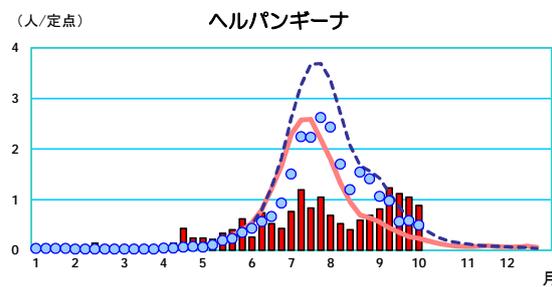
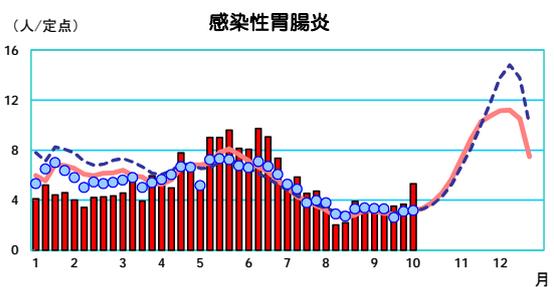
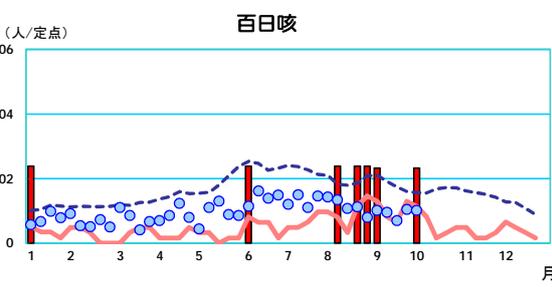
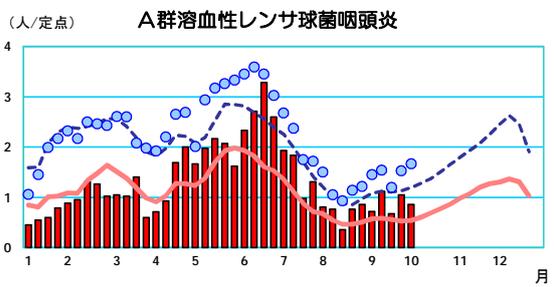
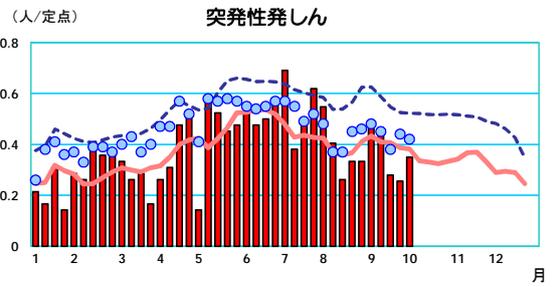
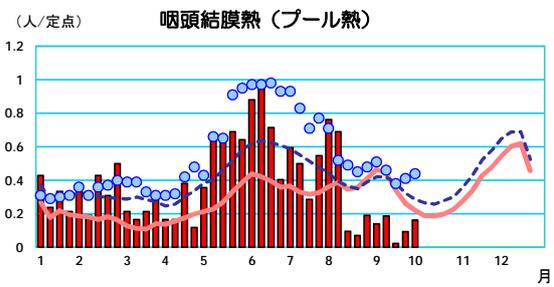
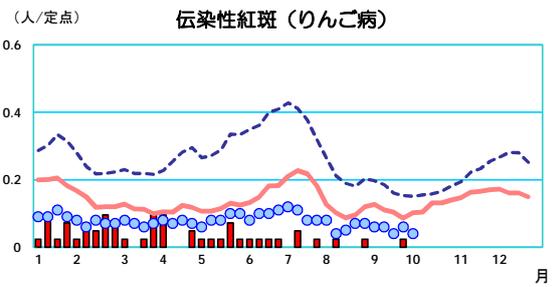
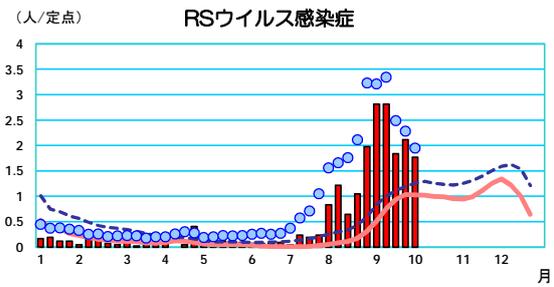
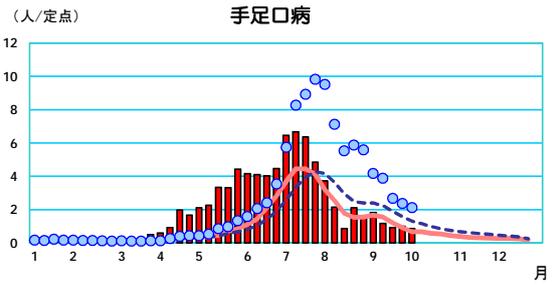
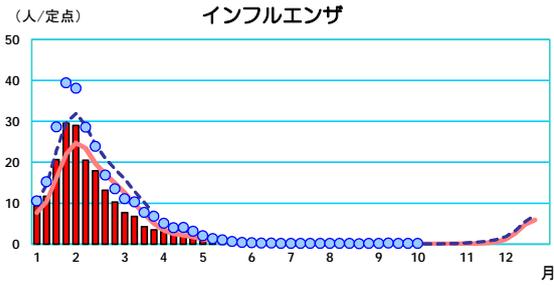
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは, 平成29年10月11日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。

また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

\* 感染経路及び感染地域については推定を含みます。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）





T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第40週

疾病,行政区別報告数

平成29年10月2日～平成29年10月8日

データ入手日:平成29年10月11日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	4	2	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1						
上京	-	-	-	7	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-						
左京	1	7	-	5	88	-	2	-	2	-	-	2	-	1						
中京	-	15	-	1	9	-	1	-	1	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2	2	-	1	14	-	-	-	2	-	-	-	-	-						
山科	-	8	2	2	2	-	2	-	1	-	18	1	-	-						
下京	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	3	-	1	14	-	3	-	1	-	2	-	-	-						
右京	1	24	4	10	17	1	11	-	1	1	5	-	-	2						
伏見	-	6	1	5	65	8	8	-	5	-	10	1	-	-						
西京	-	9	-	4	15	-	10	-	2	-	-	-	-	-						
京都市計	8	76	7	37	228	9	37	-	15	1	38	6	-	4	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	0.57	0.50	-	0.25	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00						
上京	-	-	-	2.33	0.33	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-						
左京	0.14	1.75	-	1.25	22.00	-	0.50	-	0.50	-	-	0.50	-	1.00						
中京	-	5.00	-	0.33	3.00	-	0.33	-	0.33	-	0.67	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.67	1.00	-	0.50	7.00	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-						
山科	-	1.60	0.40	0.40	0.40	-	0.40	-	0.20	-	3.60	0.20	-	-						
下京	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	1.00	-	0.33	4.67	-	1.00	-	0.33	-	0.67	-	-	-						
右京	0.13	4.80	0.80	2.00	3.40	0.20	2.20	-	0.20	0.20	1.00	-	-	2.00						
伏見	-	0.86	0.14	0.71	9.29	1.14	1.14	-	0.71	-	1.43	0.14	-	-						
西京	-	1.80	-	0.80	3.00	-	2.00	-	0.40	-	-	-	-	-						
京都市計	0.12	1.77	0.16	0.86	5.30	0.21	0.86	-	0.35	0.02	0.88	0.14	-	0.40	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第40週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年10月2日～平成29年10月8日

データ入手日:平成29年10月11日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	1	2	1	-	1	
RSウイルス感染症	年齢3	76	7	19	30	14	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		7	-	-	2	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		37	-	-	2	4	4	2	4	4	5	5	1	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		228	1	19	31	27	20	20	14	16	10	11	8	22	8	21	-	-	-	-	-	-	-
水痘		9	-	-	-	-	3	2	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		37	-	-	13	14	5	1	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		15	-	4	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		38	1	3	11	11	5	2	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		6	-	-	-	-	-	1	1	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	0.01	0.01	-	0.01	0.03	0.01	-	0.01	
RSウイルス感染症	年齢3	1.77	0.16	0.44	0.70	0.33	0.12	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.16	-	-	0.05	0.05	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.86	-	-	0.05	0.09	0.09	0.05	0.09	0.09	0.12	0.12	0.02	0.07	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.30	0.02	0.44	0.72	0.63	0.47	0.47	0.33	0.37	0.23	0.26	0.19	0.51	0.19	0.49	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.21	-	-	-	-	0.07	0.05	0.02	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.86	-	-	0.30	0.33	0.12	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.35	-	0.09	0.23	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.88	0.02	0.07	0.26	0.26	0.12	0.05	0.09	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.14	-	-	-	-	-	0.02	0.02	-	-	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	0.10	0.20	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第40週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年10月11日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	8	2	2	1	7	8
RSウイルス感染症	83	121	121	79	91	76
咽頭結膜熱	8	6	8	1	4	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	31	48	29	45	37
感染性胃腸炎	133	149	146	151	158	228
水痘	5	9	7	7	9	9
手足口病	64	78	50	40	43	37
伝染性紅斑	1	-	-	-	1	-
突発性発しん	18	20	19	12	11	15
百日咳	1	1	-	-	-	1
ヘルパンギーナ	30	35	53	48	45	38
流行性耳下腺炎	6	6	4	5	6	6
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	9	10	8	6	5	4
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	403	468	466	379	425	466

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.12	0.03	0.03	0.01	0.10	0.12
RSウイルス感染症	1.98	2.81	2.81	1.84	2.12	1.77
咽頭結膜熱	0.19	0.14	0.19	0.02	0.09	0.16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.88	0.72	1.12	0.67	1.05	0.86
感染性胃腸炎	3.17	3.47	3.40	3.51	3.67	5.30
水痘	0.12	0.21	0.16	0.16	0.21	0.21
手足口病	1.52	1.81	1.16	0.93	1.00	0.86
伝染性紅斑	0.02	-	-	-	0.02	-
突発性発しん	0.43	0.47	0.44	0.28	0.26	0.35
百日咳	0.02	0.02	-	-	-	0.02
ヘルパンギーナ	0.71	0.81	1.23	1.12	1.05	0.88
流行性耳下腺炎	0.14	0.14	0.09	0.12	0.14	0.14
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.90	1.00	0.80	0.60	0.50	0.40
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	10.21	11.63	11.43	9.27	10.21	11.07

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。